

# 湯河原ロータリークラブ



## WEEKLY REPORT

### 奉仕を通じて平和を

第 2456回 例会  
平成24年8月3日(金)  
天候 晴れ  
合唱 君が代  
我らの生業  
四つのテスト

会長 山本 明峰

幹事 石倉 幸久

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内  
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716  
例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原  
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401  
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

#### 会長挨拶

「酒は百薬の長？」

皆様、先週は夕刻からの歓送迎会に多数ご参加いただきまして、おかげさまで盛会のうちに終了となりました。ありがとうございました。

さて、今日は恐れながら皆さんになぞなぞを掛けてみようと思います。宜しいでしょうか。

「飲んでる時には飲み足らず、飲み終わると飲みすぎているものは？」どうでしょう、お判りですか。下戸の方はいざ知らず、左党の方にはこれ程簡単な、なぞなぞも有りますまい。

答えはもちろんアルコールですね。

実は、先週の歓送迎会、大分飲みすぎてしましまして、家に着いた時はへべのれけ、家人には叱責されるし、此処は大いに反省をいたし、先週から今日で早くも一週間にも及ぶ「断酒の行」に入っておるところであります。この猛暑の中、大好きなビールを断つというのは、並大抵の努力で出来ることも思えませんが、そこは身から出た錆、何とか続く限り奮闘努力を重ねる所存です。

ところで、信長の時代、日本にやってきたイエズス会の有名な宣教師、ルイス・フロイスは30年にも及ぶ日本滞在の記録を『日本覚え書き』に記しています。そのなかに「食事」に関する記述もあって、例えば、「腐ったような魚のはらわたを肴として好む。」「食事中に音を立てて食べたり、全てを飲み干すことが卑しいことではない。」等々あるのですが、酒に関しては、「ほぼ一年中酒を温めて飲む。」「ヨーロッパでは殆ど見られないが、彼らは人に酒を勧める・・・前後不覚になるまで飲酒することも希ではない。」極めつけは「酒に酩酊することは恥辱ではなく、しばしば名誉なこととされる。」

まあ、何とも夢のような話ですね。親の氏素性はともかく、せめて時代を選んで生まれてきたかったと思わざるを得ないではありませんか。

#### 本日のお客様

ガバナー補佐 鈴木悌介 様  
秘書役 下田准一 様

#### 幹事報告

ガバナー

- 財団学友によるコンサートのご案内  
日時：平成24年10月5日(金) 19時開演  
場所：横浜みなとみらいホール  
入場料：3,000円
- ロータリーカード普及のお願い  
ロータリーカードの推進担当者を専任していただき、8月末までに一名以上、年度末までに三名以上のお申し込みをご協力下さい。  
ゴールドマスターカード 年会費 10,500円  
スタンダードマスターカード 年会費無料

報告事項

- 次週の例会は、ガバナー公式訪問です。

#### スマイルBOX

ご婦人誕生日 8月3日深澤昌光(加代子様)

ガバナー補佐

鈴木悌介様 まだまだ新米のガバナー補佐でございます。湯河原クラブの皆様のご指導ご鞭撻が頼りでございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。今日は、私の補佐役の小田原北クラブ下田さんともども出席させていただきます。ありがとうございます。

高橋延幸君 全国小学生バレーボール大会の参加に対し、ロータリーより助成金を出して下さることが理事会で決定されたと聞きました。御礼申し上げます。

湯河原・真鶴ともにお祭りの時期であると共に、本日の花火大会が盛大でありますように全員でスマイル

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 2名	会員 25名
	欠席 3(免除者1)名		出席率 91.67%
	前回の修正出席率 96.00%		前々回の修正出席率 100.0%

## 卓 話

国際ロータリー 第 2780 地区 第 9 グループ

ガバナー補佐

小田原北ロータリークラブ 鈴木悌介

1. 国際ロータリー (2012~2013 会長 田中作次)  
「奉仕を通じて 平和を」
2. 第 2780 地区 (2012~2013 ガバナー 菅原光志)  
「あくまでクラブが基本」  
「クラブの活性化のためには会員の増強が不可欠」
  - 1) RI 会長テーマ及び強調事項の推進
  - 2) クラブ研修リーダー及びクラブ研修委員会の充実
  - 3) 会員増強・維持 会員を 2700 名の目標
  - 4) ロータリー財団、次年度夢計画の為の推進
  - 5) 3 年後の奉仕活動推進の為、一人当たり  
200 \$ 以上の目標
  - 6) 米山奨学生 30 名確保の為、一人当たり 2 万円以上  
の目標
  - 7) 新世代の育成  
ローターアクト、インターアクトの新クラブ設立
  - 8) 第 2780 地区のネットワークとブランドの確立
  - 9) 東日本大震災復興への支援
  - 10) 地区・クラブ役員が 18 ヶ月活動できる環境  
づくりの確立
3. 第 9 グループ
  - 1) 会員増強・維持
  - 2) ロータリー財団・未来の夢計画
  - 3) 新世代育成 (インターアクト・ローターアクト)
  - 4) 被災地復興支援

### 【2012-2013 テーマ 田中作次 RI 会長】



平和という概念は、人によって、文化によって異なりあまます。心の平安や家族の幸せ、満足感を指す場合も安全な状態を指すこともあるでしょう。平和をどのように定義するにせよ、それは奉仕を通じて達成できる目標です。

ロータリーにおいて、奉仕とは、片手間にすることでも、たまに取り組んでみることでもありません。奉仕とは生き方です。

それは、思いやりの心を重んじることであり、調和へといたる道です。生活のあらゆる場面で奉仕を実践することによって、私たちは分かち合いの精神を育み、友好を見出し、平和の道を選ぶことができます。

2012-13 ロータリー年度には、平和が私たちの焦点、そして目標となり、ロータリアンの皆さまには、「奉仕を通じて平和を」もたすため、積極的に活動していただくようお願いいたします。平和に向けた努力は、すべての人、家族、クラブ、地区、地域、そして国から始まると思います。

ロータリーの中核にあるのは、奉仕の力に対する信念です。奉仕を優先すれば、自分よりも他者のニーズが優先され、考え方ががらりと変わり、人々が抱える困難に対し、深い同情の心が生まれます。人々を助けよう、人々がもっと幸せになるよう自分にできることをしよう、という気持ちがさらに湧き上がります。自分の時間やリソースを惜しみなく与え、新しい考え方に対してもっと心を開くことができます。それは、他人を変えようとするのではなく、すべての人やものが自分に何かを教えてくれること、毎日、新たな成長の機会が与えられることを認識することになります。

奉仕を通じて、私たちは、違いに対して寛容になり、周囲の人に対して感謝の気持ちを抱くようになります。感謝の気持ちを持てば、もっと相手を理解でき、あらゆる人の中に善を見出せるようになります。こうした理解を深めることで、他者への尊重の念が高まり、互いに対する尊重の念があれば、人々は平和に暮らすことができると思います。

ロータリーの奉仕は、さまざまなかたちで平和を助長します。私たちは、クラブと地区で、世界中の地域社会に健康、安全、人間の尊厳をもたらすために活動し、競争よりも協力、自分の儲けよりも公益に価値を置こうという気持ちが、私たち一人ひとりの中に生まれます。自分を見つめることを通じて、私たちは、完璧な人間などいないということ、そして誰もが人から何かを学べるということを理解します。

ロータリー独自の標語、「超我の奉仕」は、奉仕の最高のかたちを表しています。このような奉仕こそ、私たちが歩むべき道であると、私は信じています。この道はロータリアンが築いた道であり、世界のすべての人々が歩むことのできる道です。さらに深い思いやり、満足、寛容、理解へといたる道です。

「奉仕を通じて平和を」を標榜するならば、私たちは、自分たち、そして世界のために、さらなる平和へ向けて邁進していくことができますでしょう。